

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年 3月 10日

事業所名：わくわくクラブエース（新松戸校）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・基準よりも広く、ゆとりのある中で支援している	・活動内容や構成メンバーによって、最大限スペースを活用し、質の高い支援の提供を目指す
	2 職員の配置数は適切である	7	0	・状況に応じ指導員の人数を増やすなどしている	・安全に適切な支援を行える配置を続ける
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	・絵や数字を用いて、分かりやすい掲示を作成して表示している	・情報のわかりやすさや必要な掲示物を引き続き提示していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	・掃除、消毒、および整理整頓に心がけ、児童が安心して過ごせるよう配慮している	・児童の特性を踏まえた上で安全に過ごせるよう引き続き環境を整えていく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0	・職員全員が参画出来ている	・引き続き、全員で情報共有しながら業務を進めていく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	・評価表の保護者の意見を参考に改善を行っている	・引き続き、保護者の意向を聞きながら支援や業務に反映していく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・ホームページや教室内の掲示板上に掲示して、いつでも見えるようにしている。また公開後には、会報やメールにてお知らせをしている	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6		・外部の第三者評価は行っていないが保護者と事業者自己評価表を生かし業務改善につなげている
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	・年に2回以上研修を実施している	・引き続き外部研修にも積極的に参加して情報共有を行っていく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・半年ごとにアセスメントをおこないニーズや課題を聞き取っている	・聞き取った内容を計画に反映させて作成を心掛けており、今後も継続して実践していく
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	・標準化されたものはないが、その都度子どもの状況を共有している	・より質の高い支援につなげていけるよう標準化されたアセスメントツールを検討していく
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	・ガイドラインに基づいた項目から支援をしている ・個別の目標に合わせた課題を提供している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・計画を全職員で共有し内容を把握した上で支援をしている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・会議や打ち合わせの中でアイデアを出し合っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・季節に合わせた活動や発達度合いに合わせて内容を決定している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	・児童の年齢や状況に合わせた活動を盛り込み計画作成をしている	・引き続き個々の児童の状況に応じて、個別、集団両方の活動を組み合わせて支援していく

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・毎回必ず、打ち合わせを行っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・毎回振り返りを行い、児童の状況や改善点など必要な内容を旧友している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・サービス提供票や日報に記載し、共有している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	・半年ごとにモニタリングを実施し、計画の更新を行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	・児童発達支援管理責任者が参加	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	・必要に応じて、関係機関と連携をとっていく	・積極的に関係機関とのやりとりを行っていくようにする
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	6	・現時点で対象となる利用者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6	・現時点で対象となる利用者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5	・保護者の希望や必要に応じて対応していく	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	3	・保護者の希望や必要に応じて対応していく	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	・千葉県や松戸市の研修に参加し、専門的知識を学び、支援に活かしている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7		・活動を共にしたり、交流できる機会を探っていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	5		・子育て会議等の情報を入手し、参加していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	・送迎時に、その日の児童の様子を伝えている。また、メールや電話等で、やり取りを行い、児相の状況や課題を共有している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4		・実施の希望はあるため、開催出来るようスタッフのスキルアップを図っていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	・契約時に行っている	・随時、保護者が確認や質問しやすい雰囲気を作り、やり取りを行っていく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1	・説明をおこない同意を得て発行をしている	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	・利用日以外でも、電話やメールにて、相談に対応し、その時々で児童に必要な支援を行うようにしている	・引き続き、相談しやすい雰囲気を作ると共に、適切な助言ができるよう職員もスキルアップに努める
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		・わくわくカフェの企画を再開させて保護者同士が交流、連携できるきっかけ作りを行っている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	・いつでも応じられるよう周知や声かけをし、対応している	・保護者の不安や相談を迅速に適切に対応できるように引き続き努めていく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	・教室だよりやブログ、メールにて、情報を発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	・十分注意して取り扱っている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	・絵カードの使用や構造化で、分かりやすく環境を整えている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		・感染症対策等により難しいところもあるが、広く地域に開いていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	・マニュアルを策定しスタッフへ周知している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	・年に3回、地震・火事・水害を想定した訓練や内容の確認をしている	・引き続き定期的に訓練を実施していくと共に、より丁寧にいろいろな想定を考えて訓練を実施していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	・契約時に確認を行い、変更が出た際にはお知らせいただいている	・成長歴や病歴の聞き取りは継続して行っていく ・その都度気になる状況なども確認していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	・保護者より内容を確認している	・クッキングを行う際やおやつ提供の際に、アレルギーのある児童への配慮や確認を引き続き行っていく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	・事例を記録し、共有と保管をしている	・業務改善につなげやすく、わかりやすい表や事例集の作成に努める
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	・最低でも年に1回研修を全員で受講している	・引き続き、研修と合わせて、日々の打ち合わせ等でも意識を高めていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	・契約時に説明はするが基本的に身体拘束は行わない	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。